

グローバル・ロジスティック・プロパティーズ

大阪で先進物流施設を起工、日本事業の拡大に注力

シンガポール | 物流 | 業績レビュー

BLOOMBERG GLP:SP | REUTERS GLP.SI

- 2017/3 期 3Q (10-12 月) は売上高が前年同期比 16.6%増の 2.32 億 USD、純利益が同 7.1%減の 1.71 億 USD と増収減益になった。
- 4 カ国のうち 3 カ国の純利益は増益となった。主力市場では、日本は 2 桁減益となったものの、中国が 2 桁増益と好調だった。
- 2017/3 通期の市場予想は売上高が前期比 18.7%増の 9.06 億 USD、純利益が同 5.6%減の 6.79 億 USD であるものの、2018/3 通期は増収増益となる見通し。

What is the news?

2017/3 期 3Q は売上高が前年同期比 16.6%増の 2.32 億 USD と大幅に増収。米国やブラジルの物流やファンドマネジメント規模が拡大したほか、中国事業も安定的に推移した。新規リースやリニューアルしたリースは好調に伸びた。純利益が同 7.1%減の 1.71 億 USD と増収減益になった。前年同期の米国の投資収益がなくなり、為替損失も純利益を押し下げた。ただ、グループ全体で所有する物流施設の資産価値は増加した。

事業別の純利益では、4 カ国のうち 3 カ国は増益となった。主力の中国は前年同期比 42.1%増の 1.08 億 USD となった。日本は同 23.8%減の 4,800 万 USD となった。米国は同 44.4%増益の 2,600 万 USD と好調。また、ブラジルは同 50%増の 1,200 万 USD と好調に推移した。2016/12 末の資産価値は、中国が 128.69 億 USD と 2016/9 末の資産価値より 0.4%増となった。リースレシオは 87%と高水準を維持した。日本の資産価値は同 10.0%減の 94.59 億 USD、リースレシオが同 1 ポイント減の 97%となった。米国の資産価値は同 5.4%増の 136.69 億 USD、リースレシオが 94%と好調。また、ブラジルの資産価値は同 2.7%増の 23.57 億 USD、リースレシオが 89%と堅調だった。

How do we view this?

同社は、大阪府枚方市でマルチテナント型の先進的物流施設「GLP 枚方 III」の起工式を執り行った。「GLP 枚方 III」は食品、小売、日用雑貨、医療、情報機器などこのエリアの幅広い業種にわたるテナントニーズを踏まえ、ダブルランプウェイ、中央車路を備え、垂直搬送機、荷物用エレベータも設置可能なため複層階の利用もできる。また、一部で将来の低床や冷凍冷蔵にも対応可能で、幅広い業種の物流ニーズに応える。今後の動向に注目したい。2017/3 通期の市場予想は売上高が前期比 18.7%増の 9.06 億 USD、純利益が同 5.6%減の 6.79 億 USD であるものの、2018/3 通期は増収増益となる見通し。

業績推移

※参考レート 1USD=78.81円

事業年度	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3F	2018/3F
売上高(百万USD)	617	696	763	906	1,016
純利益(百万USD)	685	486	719	679	734
EPS(USD)	0.14	0.09	0.14	0.14	0.14
PER(倍)	20.43	31.78	20.43	20.43	20.43
BPS(USD)	1.84	1.81	1.75	1.86	1.93
PBR(倍)	1.55	1.58	1.63	1.54	1.48
配当(USD)	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05
配当利回り(%)	1.40	1.40	1.40	1.75	1.75

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

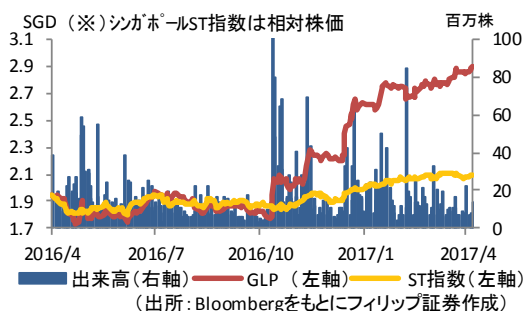
配当予想 (USD) **0.05** (予想はBloomberg)
終値(SGD) **2.90** 2017/4/27

会社概要

最新鋭の物流施設など合計5,200万㎡を有し、中国、日本、ブラジルや米国で事業を展開している。2024年までに、世界主要107箇所で物流拠点を設置する計画がある。同社は、世界的な製造業、小売、サード・パーティー・ロジスティクスにより良いサプライチェーンのインフラを提供している。

企業データ(2017/4/27)

ベータ値 1.18
時価総額(百万SGD) 13,498
企業価値=EV(百万SGD) 18,002
3か月平均売買代金(百万SGD) 42.87



主要株主(2017/4)

(%)
1. GIC Private Limited 36.93
2. NB Holdings 9.06
3. Hillhouse Capital Management 8.21

アナリスト

袁鳴

ming.yuan@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

2017年4月28日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 北浦優子

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。